

全国アンケートからみた 「かわまちづくり」の現状と課題

水循環・まちづくり・防災グループ
研究員 阿部 充

 公益財団法人 リバーフロント研究所

長井地区かわまちづくり(山形県長井市)



平成30年度「かわまち大賞」報道発表資料より

 公益財団法人 リバーフロント研究所

第28回リバーフロント研究所研究発表会





公益財団法人 リバーフロント研究所

1. 背景と目的

かわまちづくりとは

- ・**かわまちづくり=河川空間とまち空間の融合が図られた、良好な空間形成を目指す取り組み**
- ・H21(2009)年度「**かわまちづくり**」**支援制度** 創設
- ・市町村や民間事業者等の地域が「**かわまちづくり計画**」を策定
- ・「**かわまちづくり計画**」の登録により、河川管理者がソフト・ハード両面の支援を実施

公益財団法人 リバーフロント研究所

1. 背景と目的

かわまちづくり計画登録箇所数の推移



公益財団法人 リバーフロント研究所

1. 背景と目的

かわまち大賞の創設

- ・模範となる先進的な「かわまちづくり」を**国土交通大臣が表彰**し、全国に周知。
- ・取組団体を讃えるとともに、「かわまちづくり」支援制度を浸透させ、民間事業者の参入を促進し、民間事業者のもつ「ノウハウ」等を活かした質の高い「かわまちづくり」を目指す。



「かわまち大賞」の全国的なイベント会場での広報・PR

公益財団法人 リバーフロント研究所

1. 研究の背景

一方で…



- ・計画どおり進まない。
- ・うまく利活用されていない。

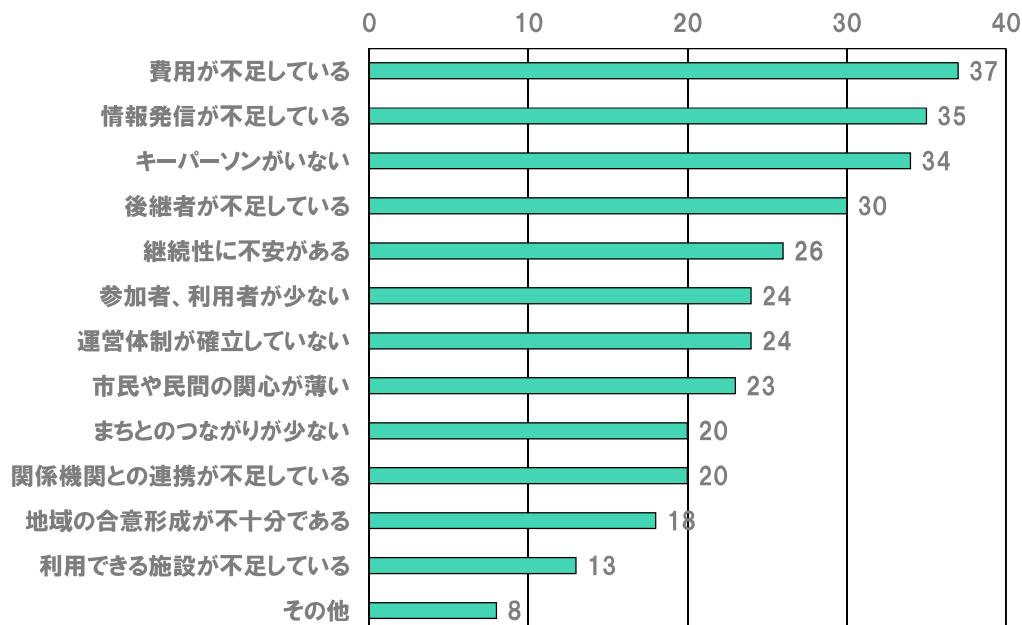


- ・かわまちづくりってなんですか？

河川空間をうまく活用した取組みができるていない地域も散見

1. 背景と目的

既存の研究：かわまちづくりの課題(2016)

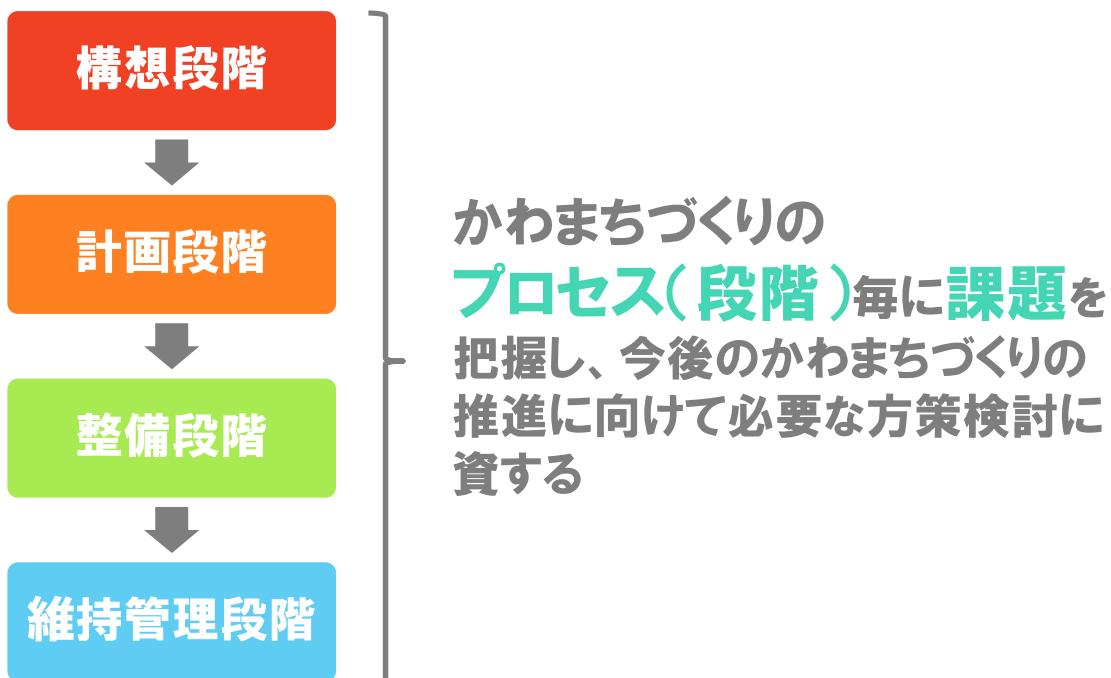


(河川数:178)



傾向は概ね把握できたが、地域の状況や
かわまちづくりのプロセスによって課題が異なりそう

研究の目的



本日の発表内容

1. 背景と目的
2. 検討方法
 - 2-1 アンケート調査
 - 2-2 分析方法
3. 検討結果
 - 3-1 河川の活用可能性
 - 3-2 かわまちづくりの課題と原因
4. まとめ

本日の発表内容

1. 背景と目的

2. 検討方法

2-1 アンケート調査

2-2 分析方法

3. 検討結果

3-1 河川の活用可能性

3-2 かわまちづくりの課題と原因

4. まとめ

2. 検討方法:アンケート調査

アンケート調査の概要

対象 1級河川及び2級河川に隣接する市区町村(自治体)

→1,614箇所から回答(回答率94%)

時期 令和元年7月3日～8月9日

内容 ・河川の活用可能性・活用方法

→活用できないと思われる理由

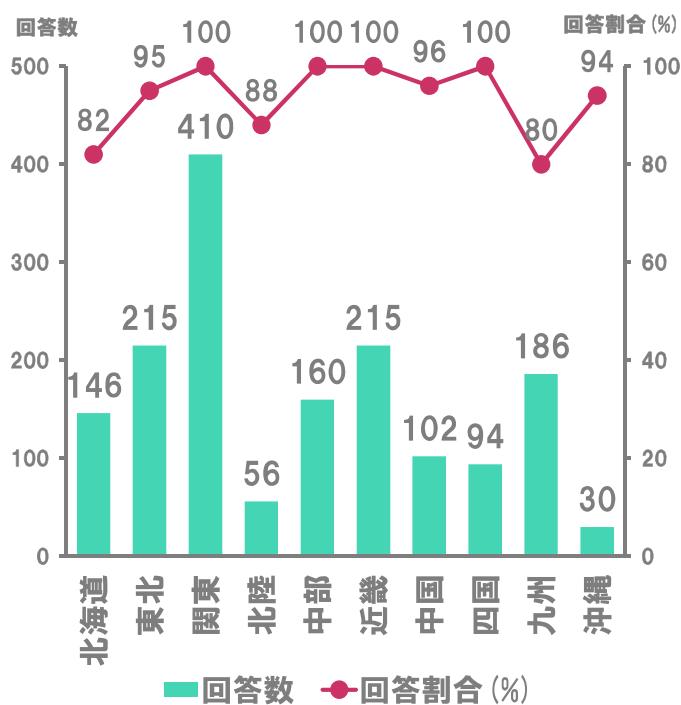
・かわまちづくり計画検討の有無・検討段階

→かわまちづくりにおける課題・原因 等

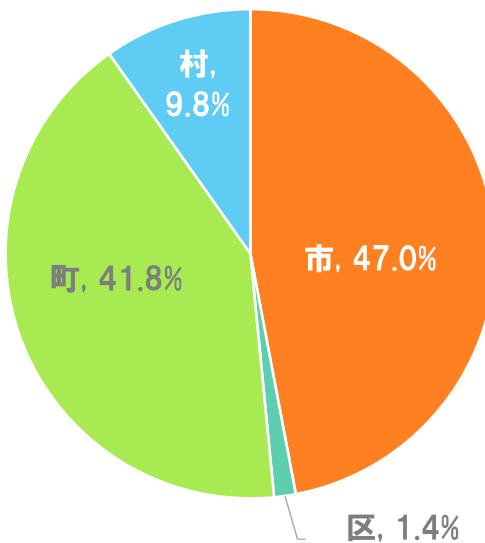
2. 検討方法:分析方法

アンケートの回答状況(1614箇所)

【地方別内訳】



【市区町村内訳】



公益財団法人 リバーフロント研究所

2. 検討方法:分析方法

【全箇所対象】

・河川の活用可能性

→活用できないと思われる理由

【検討箇所対象】

・かわまちづくり計画の検討段階

→かわまちづくりの課題・原因

公益財団法人 リバーフロント研究所

本日の発表内容

1. 研究の背景

2. 検討方法

2-1 アンケート調査内容

2-2 分析方法

3. 検討結果

3-1 河川の活用可能性

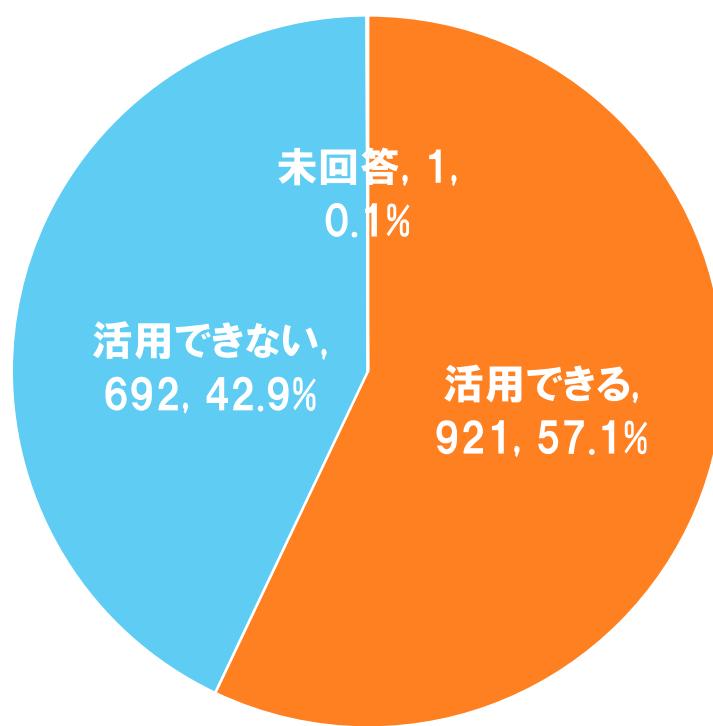
3-2 かわまちづくりの課題と原因

4. まとめ

 公益財団法人 リバーフロント研究所

3. 検討結果: 河川の活用可能性

地域活性化等に河川を活用できますか？



N=1,614箇所

 公益財団法人 リバーフロント研究所

3. 検討結果:河川の活用可能性

活用できないと思う理由

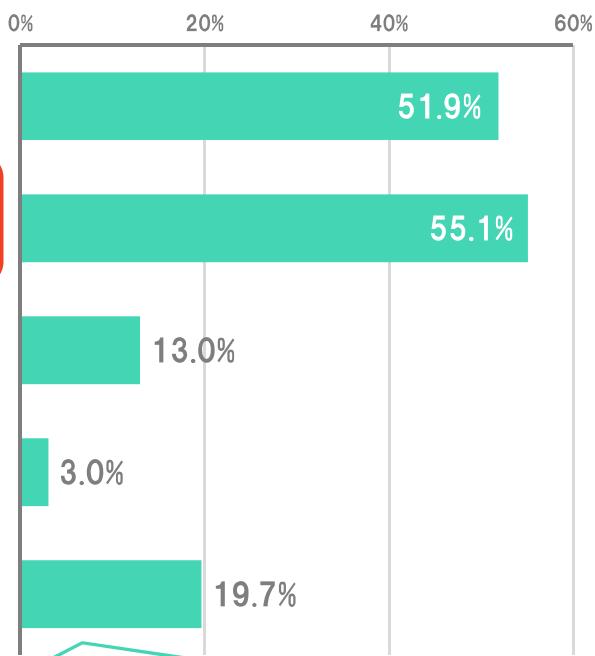
①洪水等で危険であり、利活用を考えにくい

②そもそも、具体的な河川の利活用方法を思いつかない

③河川利用のための事務手続きが難解でわかりにくい

④現在の制度上、河川に設置できる施設が限定的で、利活用しにくい

⑤その他



- ・(河川敷が狭いなど)利活用できる空間がない【多い】
- ・利活用可能な場所を把握していない
- ・県管理のため調整が難しい など

3. 検討結果:河川の活用可能性

かわまちづくり計画の検討経験について

検討経験「有り」と回答 **252箇所／1,614箇所(15.6%)**

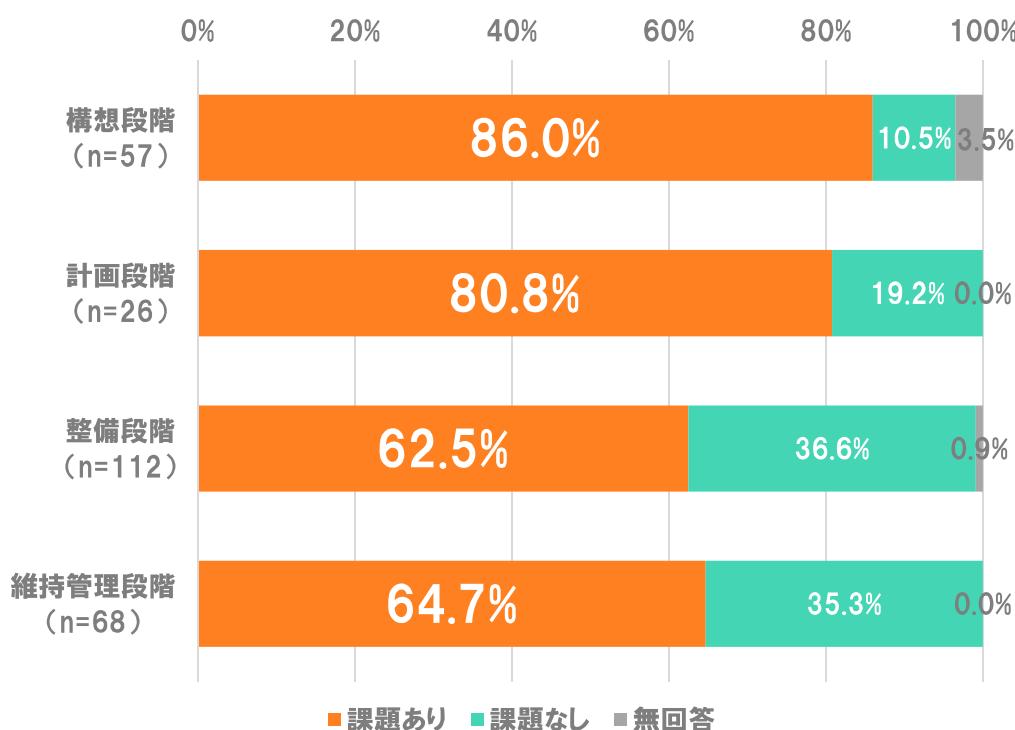


検討の段階

	回答数	回答割合
①構想段階	57	22.6%
②計画段階	26	10.3%
③整備段階	112	44.4%
④維持管理段階	68	27.0%
検討経験「有り」	252	100.0%

3. 検討結果:かわまちづくりの課題と原因

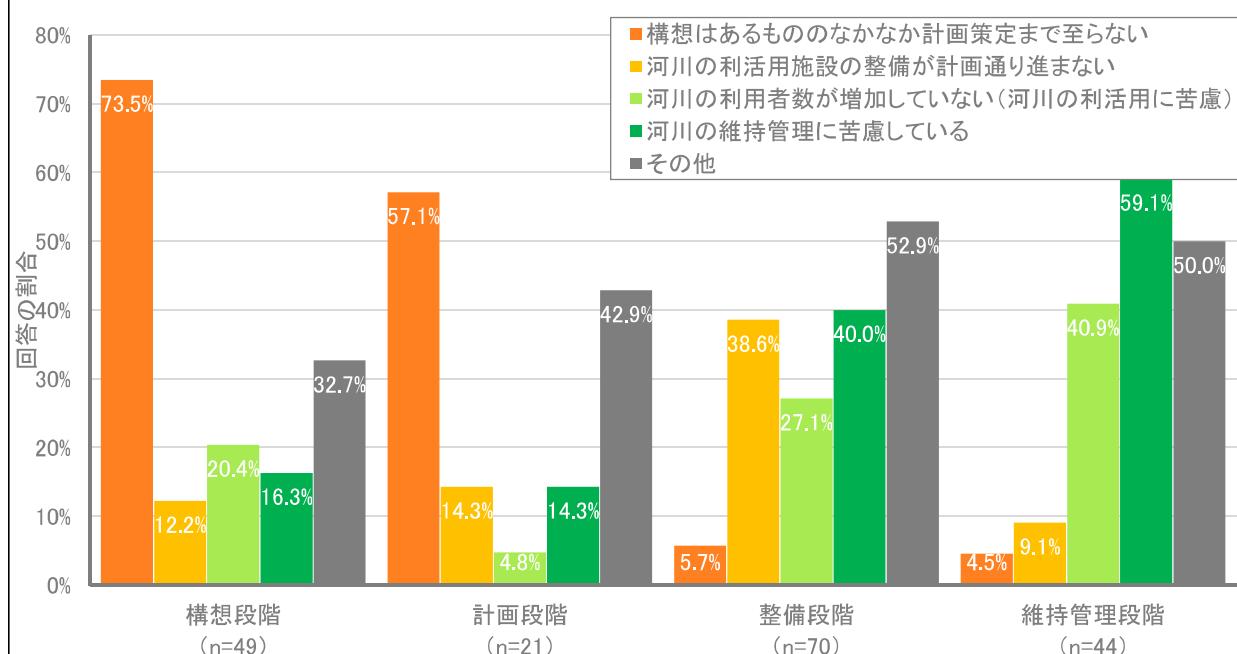
段階ごとの課題の有無



公益財団法人 リバーフロント研究所

3. 検討結果:かわまちづくりの課題と原因

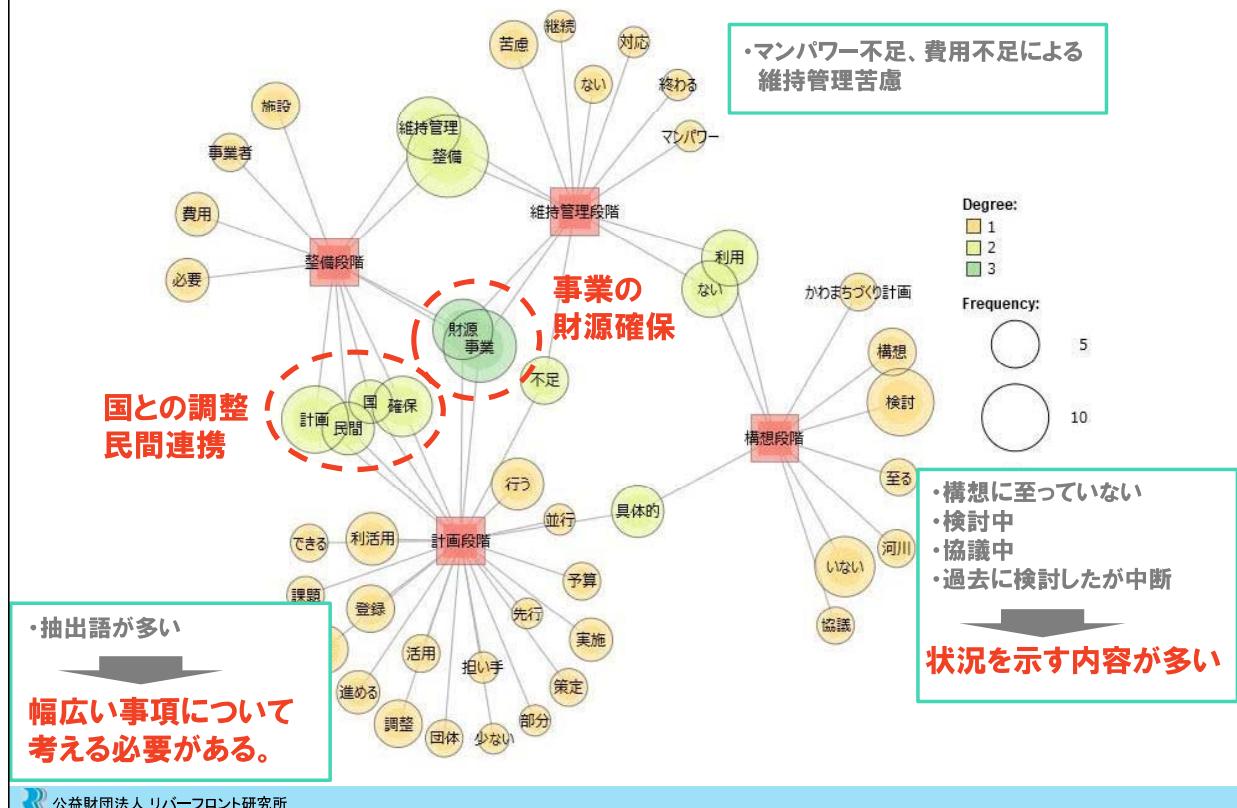
段階ごとの課題の内容



公益財団法人 リバーフロント研究所

3. 検討結果:かわまちづくりの課題と原因

「その他」の課題の内容についてテキストマイニング



3. 検討結果:かわまちづくりの課題と原因

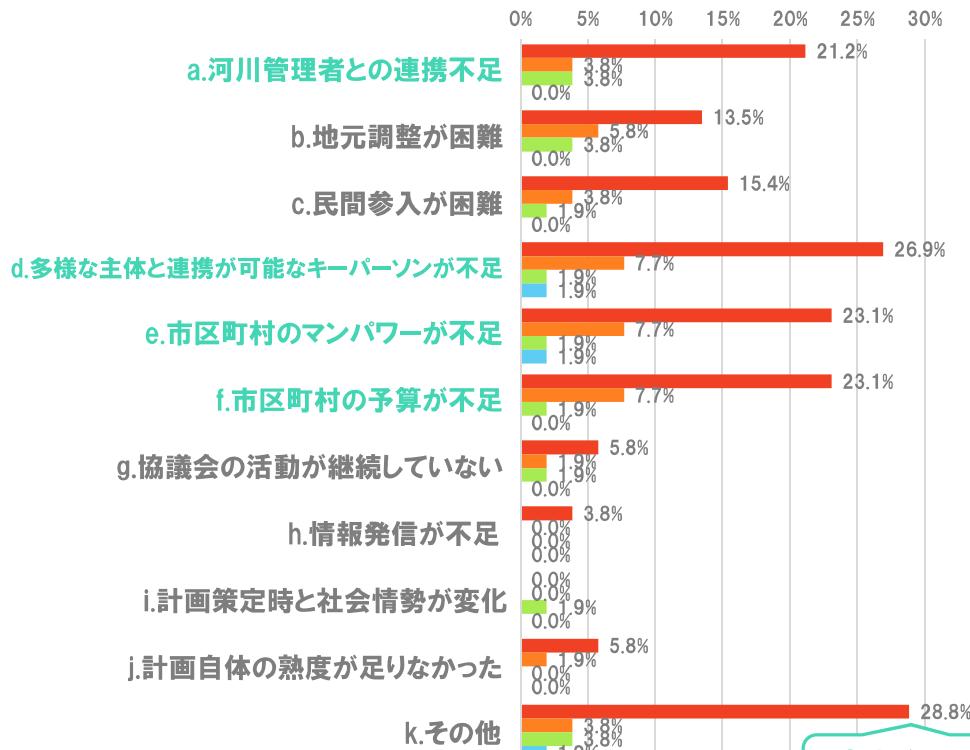
課題の原因

選択肢
【複数選択】

- 河川管理者との連携不足
- 地元調整が困難
- 民間参入が困難
- 多様な主体と連携が可能なキーパーソンが不足
- 市区町村のマンパワーが不足
- 市区町村の予算が不足
- 協議会の活動が継続していない
- 情報発信が不足
- 計画策定時と社会情勢が変化
- 計画自体の熟度が足りなかった
- その他

3. 検討結果:かわまちづくりの課題と原因

「構想はあるもののなかなか計画策定まで至らない」のはなぜ?

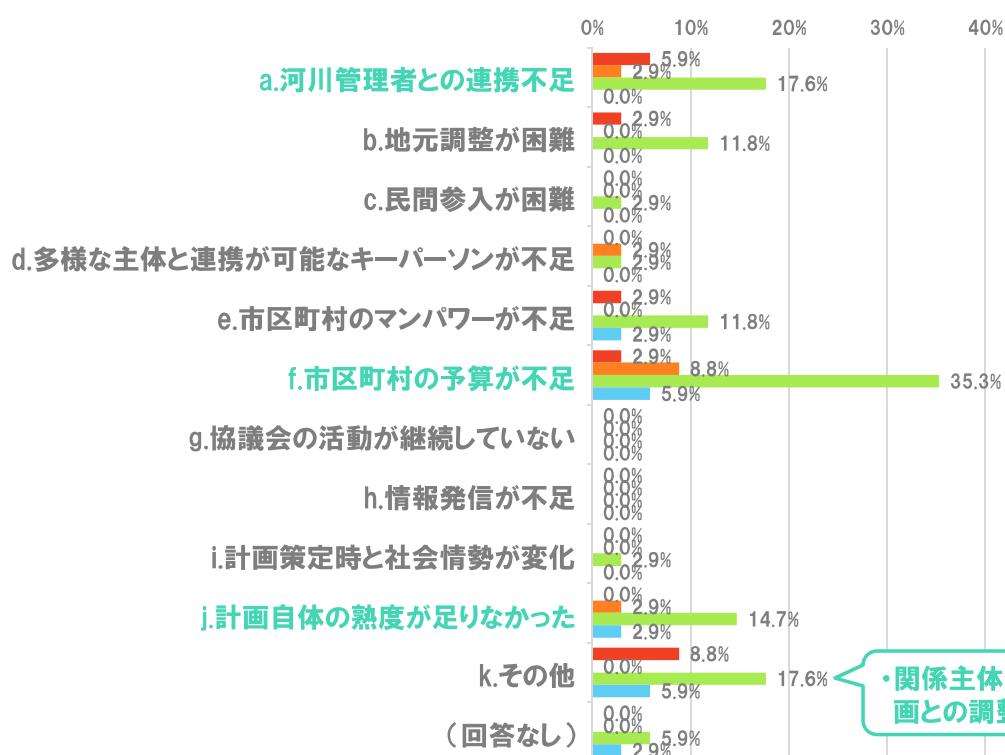


・適地がない
・関係部局と調整中

公益財団法人 リバーフロント研究所

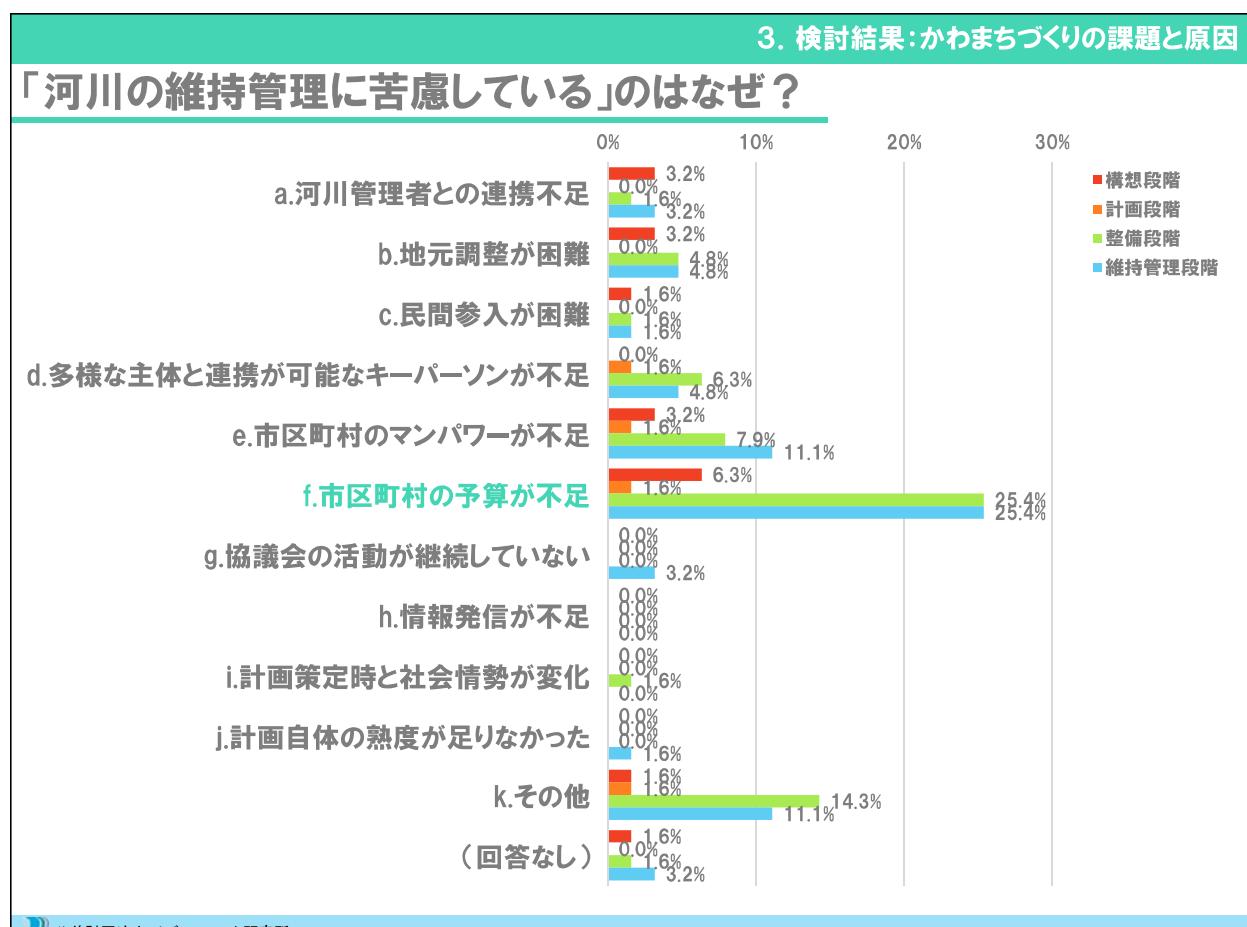
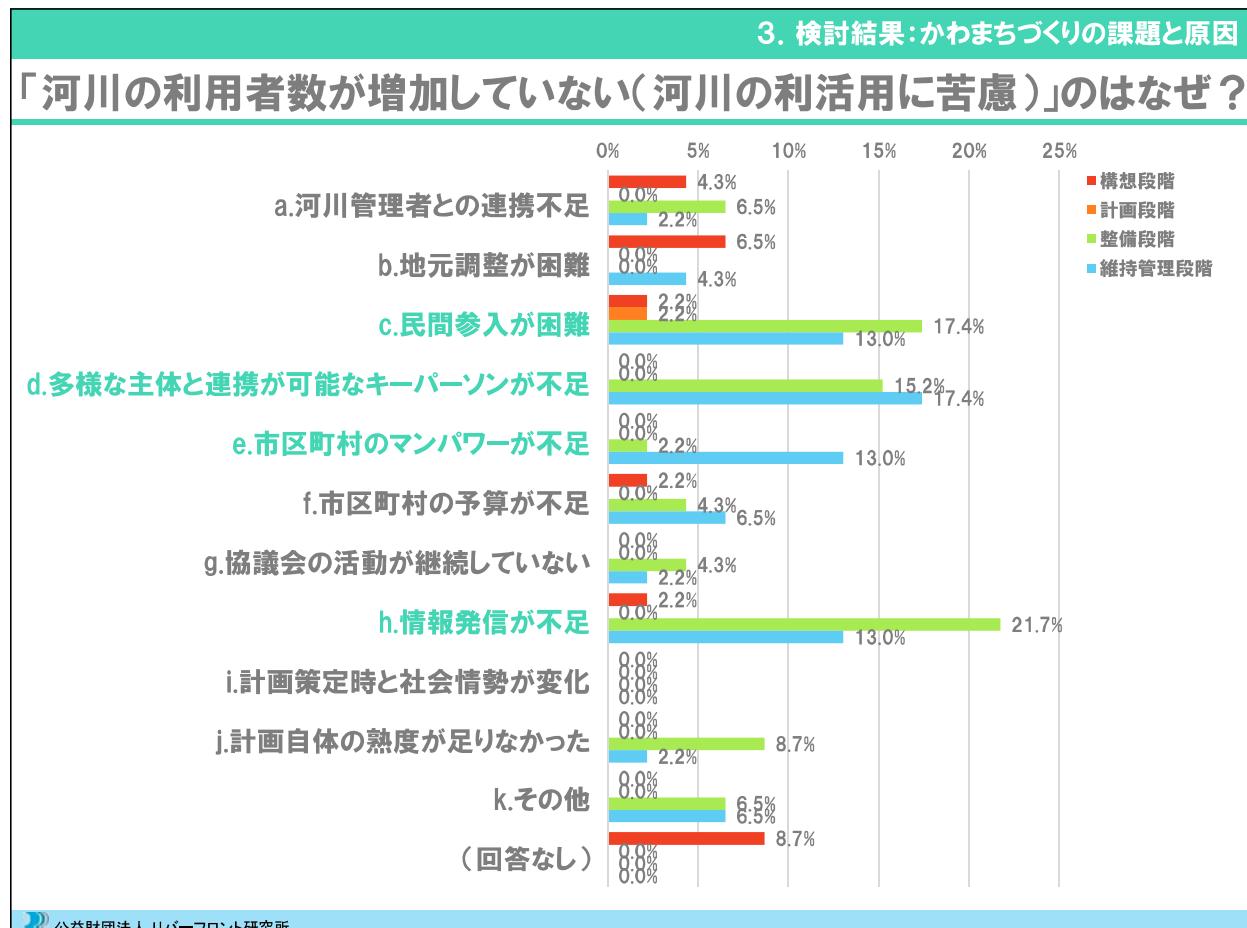
3. 検討結果:かわまちづくりの課題と原因

「河川の利活用施設の整備が計画通り進まない」のはなぜ?



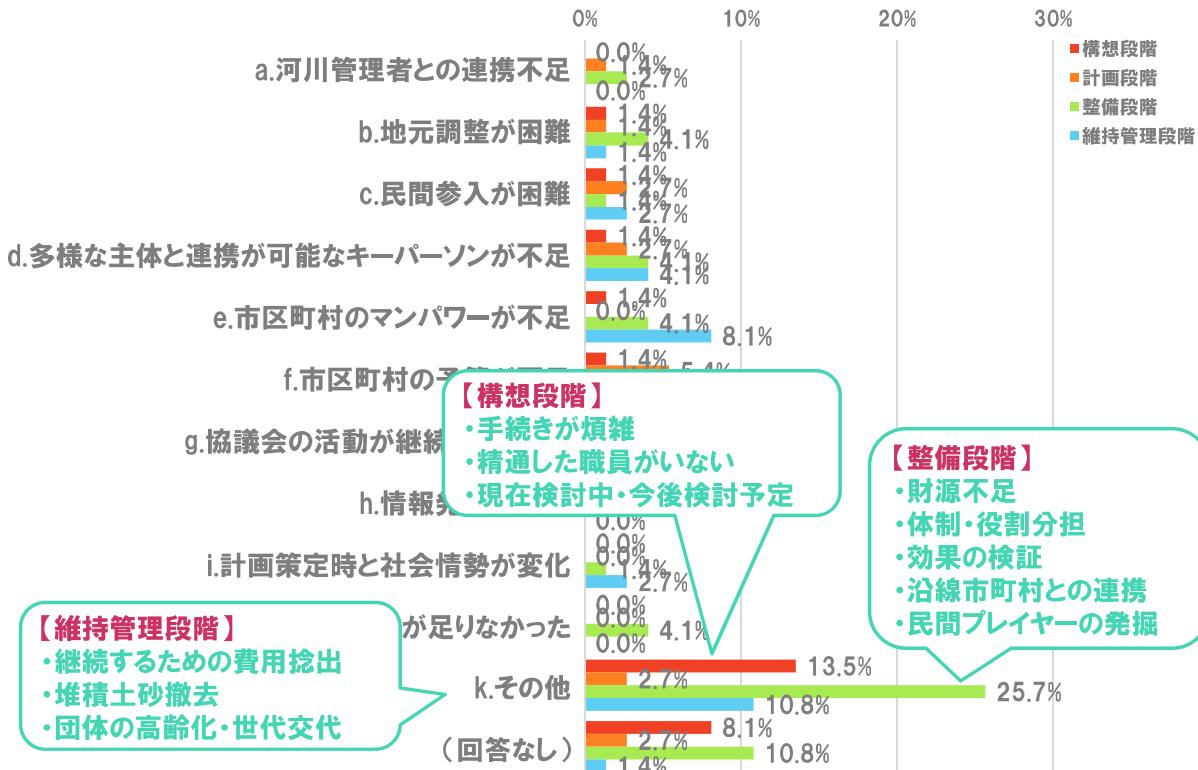
・関係主体や施設、他の計画との調整が必要

公益財団法人 リバーフロント研究所



3. 検討結果：かわまちづくりの課題と原因

「その他」の課題の原因是？



R 公益財団法人 リバーフロント研究所

本日の発表内容

1. 研究の背景

2. 検討方法

2-1 アンケート調査内容

2-2 分析方法

3. 検討結果

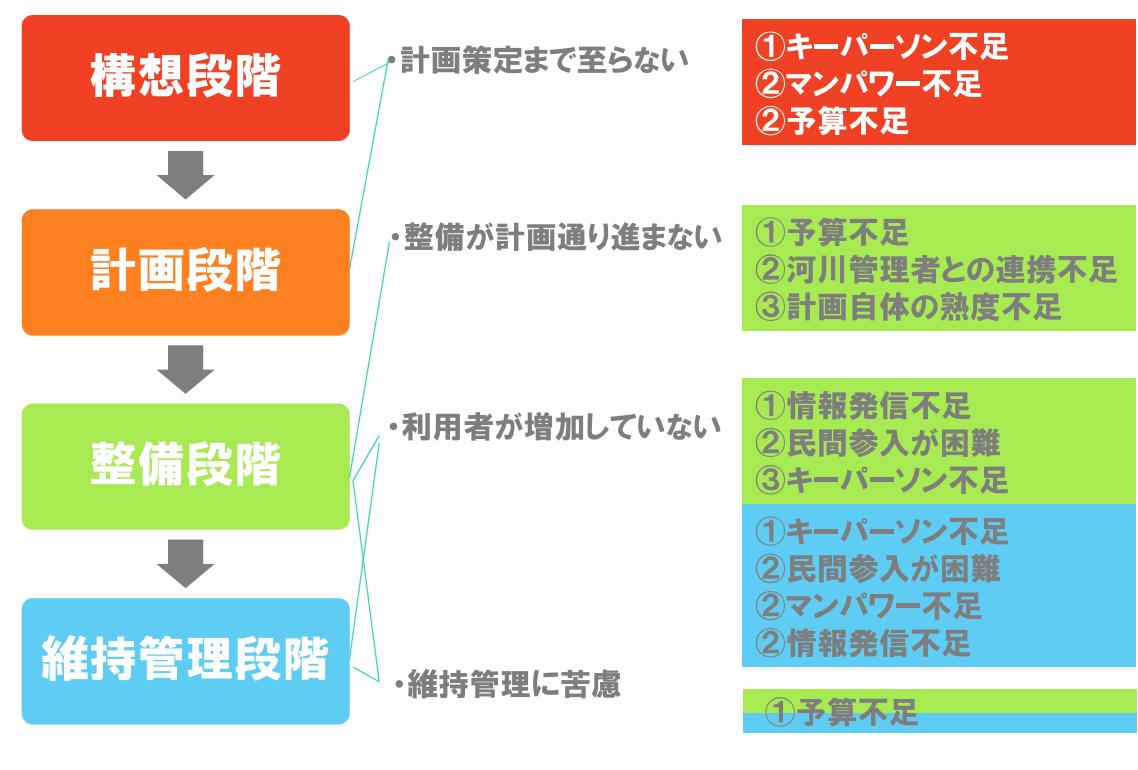
3-1 河川の活用可能性

3-2 かわまちづくりの課題と原因

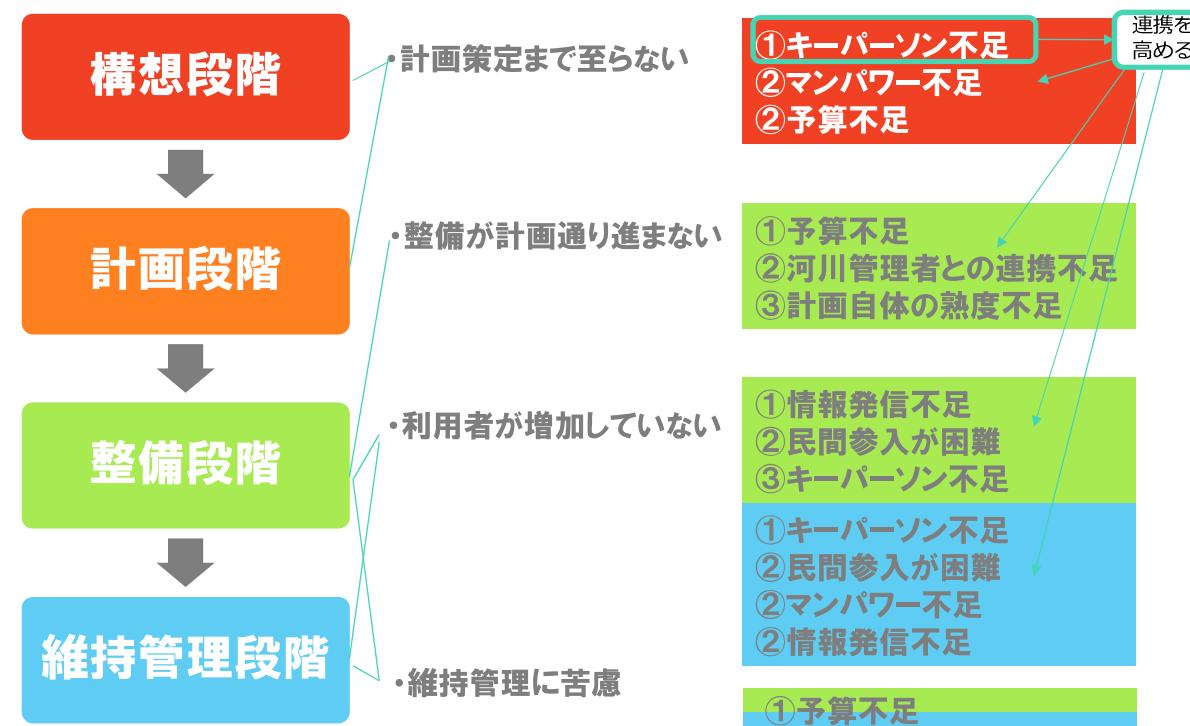
4. まとめ

R 公益財団法人 リバーフロント研究所

プロセス毎の課題・原因(代表3項目)のまとめ



プロセス毎の課題・原因(代表3項目)のまとめ



4.まとめ

(課題解決に向けた話題提供)

キーパーソン不足



- ・マンパワー不足
- ・予算不足
- ・情報発信不足 など

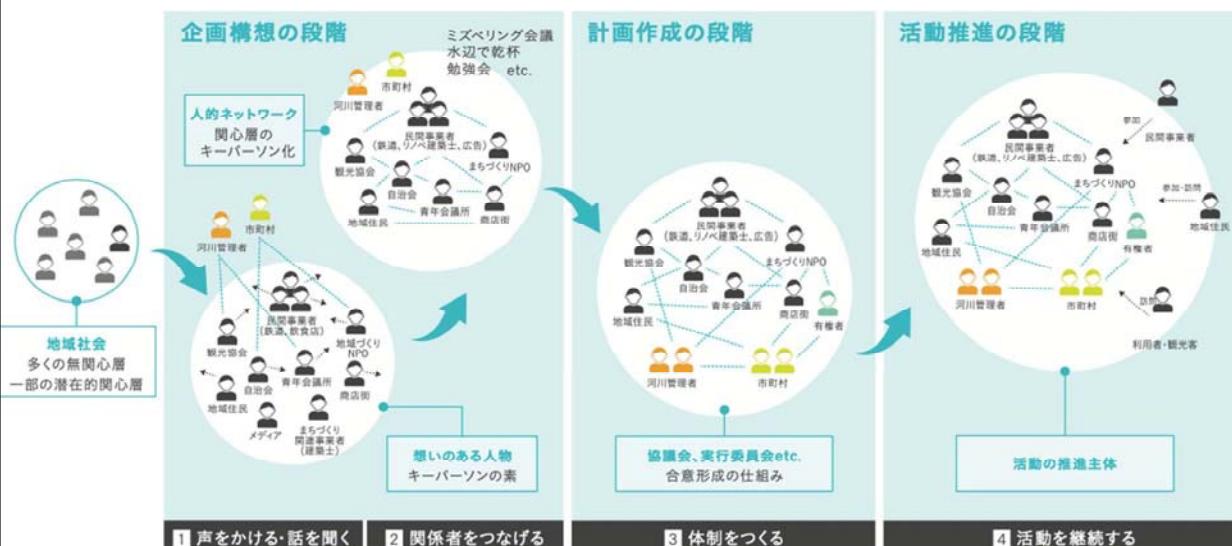
その他の課題にも通じる

**「チームを作る」ということが重要**

4.まとめ

(課題解決に向けた話題提供)

人を巻き込む流れのイメージ



4. まとめ

(課題解決に向けた話題提供)

予算不足



補助金等のリクエスト多い

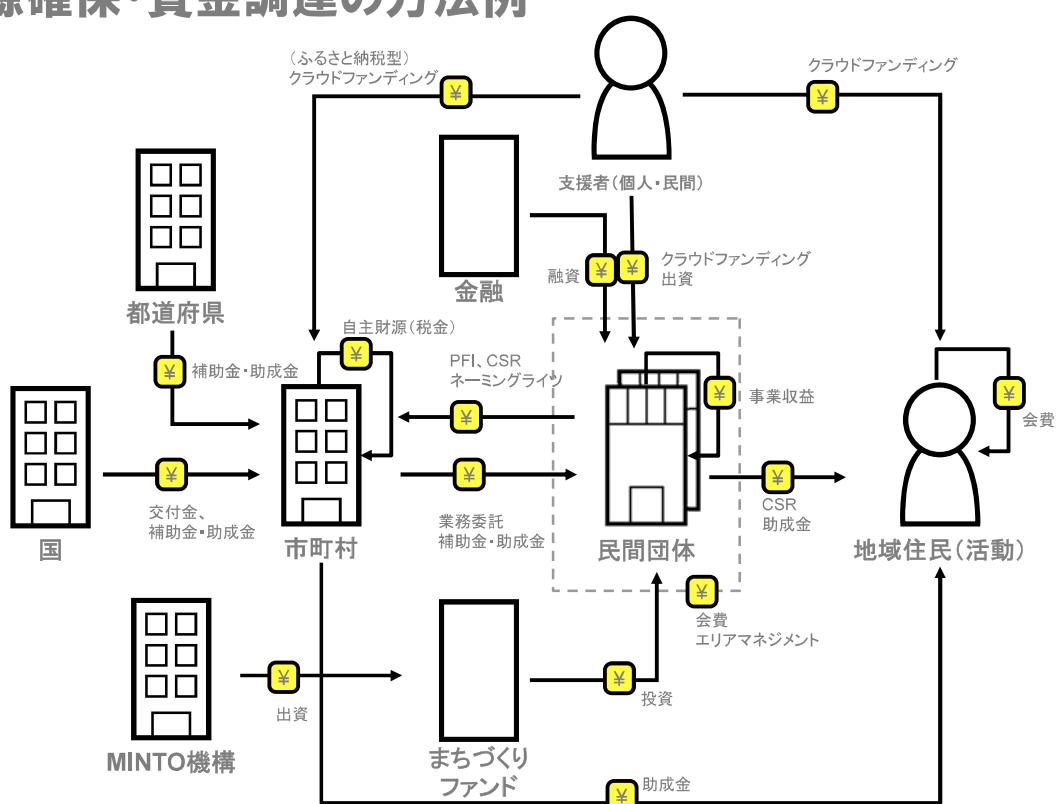


新しい取組を含め、
どのような可能性があるか
よく考える

公益財団法人 リバーフロント研究所

4. まとめ

財源確保・資金調達の方法例



※図全体で成り立っている事例があることを示すものではありません。

公益財団法人 リバーフロント研究所

4.まとめ

(課題解決に向けた話題提供)

新しい取組→(例)ふるさと納税型クラウドファンディング



R 公益財団法人 リバーフロント研究所

4.まとめ

かわまちづくり計画策定の手引き

【目 次】

第1章「かわまちづくり」支援制度について

- 1-1 「かわまちづくり」とは
- 1-2 「かわまちづくり」で実現できること
- 1-3 「かわまちづくり」に取組む過程で得られるもの
- 1-4 「かわまちづくり」支援制度とは
- 1-5 支援制度の解説

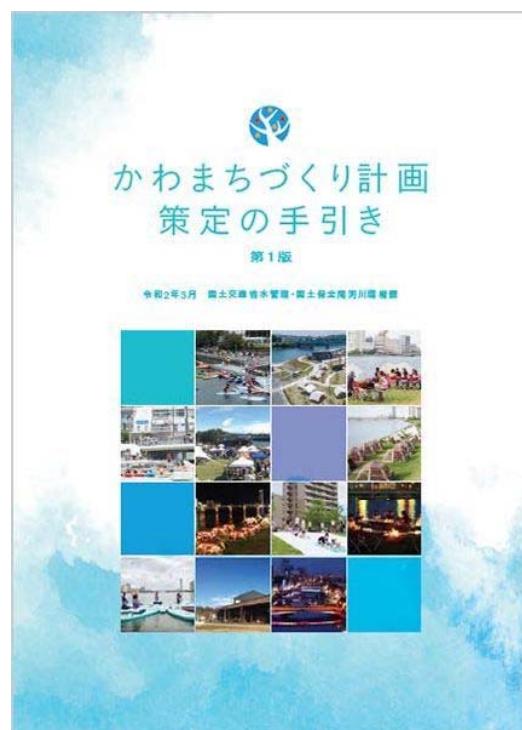
第2章「かわまちづくり計画」策定のポイント

- 2-1 「かわまちづくり」の進め方
- 2-2 企画構想の段階
- 2-3 計画作成の段階
- 2-4 活動推進の段階

第3章「かわまちづくり」の法制度

- 3-1 知っておきたい「かわ」側の制度
- 3-2 知っておきたい「まち」側の制度

「かわまちづくり」参考資料



国土交通省「かわまちづくり」ホームページで公開中!

R 公益財団法人 リバーフロント研究所